

これからの**物品管理**は “**脱Excel**”

クラウドで管理を効率化する

物品管理の課題を解決するために、
クラウドサービスをどう選ぶべきか？



株式会社 ネットレックス



物品管理こそ、DX（デジタル・トランスフォーメーション）が必要です

紙の台帳やExcelに人間がデータを入力するタイプの物品管理には、大きなコストが発生しています。企業の**生産性向上**には、物品管理のような**定型業務**にこそ、**DX**が必要です。自社に適したソリューションの導入を検討しましょう。

— 物品管理で多いお困りごと ランキング —

- 1位 棚卸しが大変
- 2位 台帳と現状に差異がある
- 3位 管理がほとんどできてない、台帳がない
- 4位 物品の状態が把握できていない（どこにあるか分からない）
- 5位 手作業の貸出し管理が面倒
- 6位 Excelで行っている管理をシステム化したい



2021年 株式会社ネットレックス調べ



紙台帳やExcelでの管理は、**クラウドに移行することで効率化が可能**

物品管理システムは、パッケージソフトも提供されていますが、クラウドサービスを利用すれば、導入コストと運用コストを抑えながら、物品管理をシステム化・効率化できます。



一方で、システム化した場合でも**こんな懸念も**

自社に適したシステムでなければ、棚卸しに時間がかかったり、確認作業の時間が必要になる場合もあります。また、業務の変更に対応する必要もあります。

「2025年の崖」といわれているが、**物品管理など、コスト業務のDX**を積極的に進めることが必要

➡では、物品管理でどのクラウドサービスを選ぶべきでしょうか？

自社が必要とする運用にどこまで対応できるか

一口に物品管理といっても、その対象はさまざまです。PCなどをはじめ、オフィスや倉庫の鍵や文書保管箱など、管理したい物品は多岐にわたります。また、物品の所在のほかにも、状態や利用状況なども同時に管理したい場合もあります。

POINT 1 管理項目が設定できること

管理項目を自由に設定できるかどうかは、重要な選択のポイントです。フォーマットが固定されていたり、項目が不足していると、望んだ管理が行えません。



POINT 2 レポートが作成できること

物品の利用状況や使用期限、点検時期などをレポート表示する機能も、物品管理の効率化には必要不可欠です。自動化することで、モレ・ヌケも防止できます。



POINT 3 アラートメールでのお知らせ

貸し出し物品の返却期限や、点検が必要な物品の点検時期などをアラートで知らせる機能も必須といえます。できるところはすべて自動化することで一層の効率化が可能です。



POINT 4 タグに対応していること

物品管理の自動化・効率化のカギが「タグ」の活用です。バーコードやQRコードなどを利用することで、入力の手間と入力ミスのリスクを最小化します。



「使えるシステム」「使われるシステム」にするために

どんなに優れたシステムでも「使えないシステム」「使われないシステム」では導入した意味がありません。そうならないために重要になるのが、**導入も含めた「運用」**です。また、既存システムと連携することで一層の効率化が期待できます。物品管理のDXの効果を高めるためには、**システム連携**も選択の視野にいれるべきです。

POINT 1 業務・システム運用について 相談や業務委託できること

スモールスタートでの成功体験やメリットの体感、現場の負担を増やさないなど、システム導入には**ノウハウ**があります。業務・システム運用について**相談ができること**や、業務自体を**委託できる**かも重要です。

- 初期導入のサポート
- コンサル
- 導入後のサポート
- 診断
- 業務委託

CHECK

POINT 2 既存システムとの連携を サポートしていること

物品管理をシステム化しても、ほかのシステムと連携させなければ、そのメリットは限定的です。データインポート・エクスポートやAPI提供など、**システム連携の機能**や**サポートの有無**も選択のポイントになります。

データインポート
エクスポート



API提供



サポート

Q&A

POINT

自社の運用に最適なシステムを、導入から活用までサポート

「Convi.BASE」は、社内のあらゆる物品を管理できる物品管理クラウドサービスです。物品管理業務に必要な機能を自由に組み合わせて、自社に最適なシステムを構築できます。さらに、物品管理業務のコンサルティングから、システム設計、導入・運用支援、データ活用まで、**物品管理の効率化と生産性向上をトータルにサポート**します。「Convi.BASE」は、シリーズ累計1,000社以上の現物管理で活用されています。

特長1

自由に構築できる拡張性

管理項目の設定やレポートの作成など、**自社に合わせたシステムを自由に設計**できます。また、**タグなどの活用**により、一層の効率化を実現できます。



特長2

導入・運用・活用をサポート

現場の負担が少ないシステム導入をサポートします。また、運用のサポートに加え**業務自体のアウトソーシング**にも対応します。



導入・運用サポート



アウトソーシング

特長3

1,000社以上の豊富な実績

固定資産、IT資産、重要文書・契約書原本、工具から在庫・消耗品の管理まで、**さまざまな業種・業務での物品管理**に、「Convi.BASE」が活用されています。



日本マーケティングリサーチ機構調べ
2021年2月期実績調査

さまざまな分野で「Convi.BASE」が活用され、効果を上げています



償却資産の棚卸しに活用

課題

経理担当者1名が償却資産約1500点を棚卸ししていたが、台帳と一致しないなどの不具合が発生していた。

導入効果

QRコードを現物に貼付し、iPadで読み取る仕組みで管理することで、棚卸し時間を短縮した。

償却資産管理時間



3日



15分



物件の鍵の管理に活用

課題

16店舗で所有する鍵の管理を、Excel台帳で行っていたため、貸し出し・返却の管理に不備が生じていた。

導入効果

ICタグによる複数一括読み取りで鍵の棚卸しを効率化し、QRコードによる貸し出し管理で、管理を徹底した。

鍵の管理時間



× 3 時間



× 10分



文書箱の管理に活用

課題

約3000個の文書箱の入庫・出庫・廃棄業務をすべて人力で行っていたため、誤廃棄のリスクがあった。

導入効果

文書箱にICタグと個票を添付することで、複数一括読み取りが可能になり、棚卸し業務と誤廃棄リスクを低減した。

文書箱の管理時間



7日



0.5日

物品管理のどんなご相談でも承ります



あらゆるモノの管理を支援するクラウドサービス



お気軽にどんなことでもご相談ください。

<https://convibase.jp/>

「Convi.BASE」は1,000社の導入実績に加え、

「物品管理システム導入実績 No.1」

「総務担当者が導入したい物品管理システム No.1」

「サポートが充実の物品管理システム No.1」

の三冠を獲得するなど、
ユーザーから高く評価されています。



日本マーケティングリサーチ機構調べ
2021年2月期実績調査/ブランドのイメージ調査

株式会社ネットレックス

〒103-0025

東京都中央区日本橋茅場町3-11-10 PMO日本橋茅場町ビル8F

TEL (03)5643-6743 / FAX (03)5643-6748

E-Mail info@netreqs.co.jp

HP コンビベースサイト <https://convibase.jp/>

コーポレートサイト <https://www.netreqs.co.jp/>

